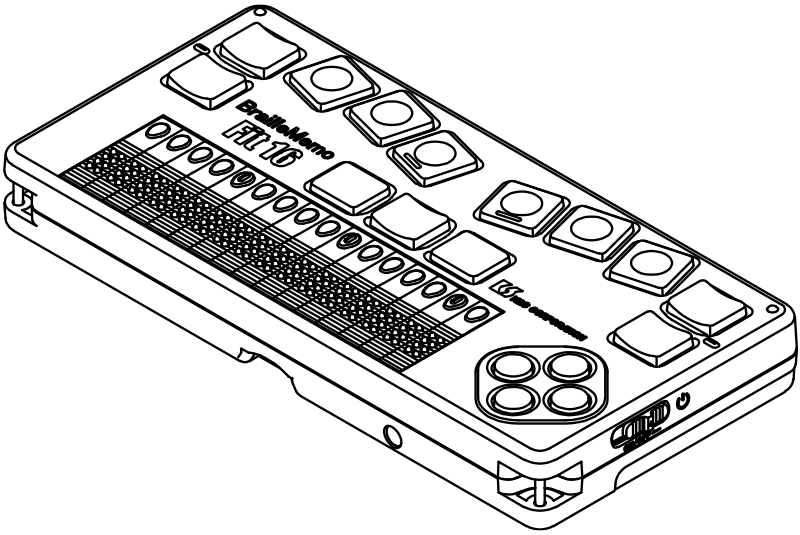
Braille Memo Fit 16
ユーザーズマニュアル



ケージーエス株式会社

目次

■1　はじめに.....－ 2 －
■2　安全に関するご注意.....－ 3 －
■3　製品及び同梱品の確認.....－ 7 －
■4　各部の名称.....－ 8 －
■5　点字編集.....－ 13 －
■6　電卓機能.....－ 34 －
■7　時計機能.....－ 36 －
■8　カレンダーとスケジューラ.....－ 40 －
■9　通信機能.....－ 43 －
■10　設定 .....－ 50 －
■仕様 .....－ 54 －

発行：2026 年 10 月 20 日　Rev2
本マニュアルの対象ファームウェアバージョン：130

■1　はじめに

この度は、ブレイルメモフィット 16（BMFit16）をご利用いただき、誠にありがとうございます。
BMFit16 は、点字表示のみで操作できる、小型・軽量の手のひらサイズの 16 マス点字ディスプレイです。起動が早く、通勤・通学や外出先でも負担にならず、思い立った瞬間にサッとメモを取ることができます。
本体には、時計、アラーム、カレンダー、予定、ストップウォッチ、電卓など、日常を支える便利なアクセサリ機能を搭載しています。
さらに、USB 接続や Bluetooth 接続に対応しており、PC と連携することで、スクリーンリーダーの文字情報を点字で確認しながらメールやインターネットを利用することも可能です。
なお、iPhone、Android デバイスへの対応については、今後本体のファームウェアのアップデートで順次行う予定です。
データの保存や共有には、最大 32GB の microSD カードをご使用いただけます。PC との文書交換や、サピエ図書館からダウンロードした点字図書の閲覧にも対応し、学習や仕事の場面でもスムーズにご活用いただけます。
※microSD カードは本体に挿入した状態で出荷されます。必要な時以外は取り外さずにご使用ください。
BMFit16 が、皆さまの日常の情報管理や創作活動の心強いパートナーとなりましたら幸いです。

■2　安全に関するご注意

警告及び注意事項について

⚠危 険	この表示は誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負うに至る切迫した危険性が高いことを表しています。
⚠警 告	この表示は、誤った取り扱いをすると人体に重大な損傷を負う可能性がある事を表しています。
⚠注 意	この表示は、誤った取り扱いをすると人が損傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示の内容について

⚠注 意	この表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容を表しています。
🛇禁 止	この表示は、禁止(してはいけないこと)の内容を表しています。
❗厳 守	この表示は、必ず行っていただく厳守事項の内容を表しています。

⚠危 険

分解禁止	■分解をしない。改造・修理をしない。 火災・感電・故障の原因になります。 修理が必要な際は、必ず「ケージーエス株式会社営業部」までご連絡ください。 TEL：0493-72-7311
厳守	■AC アダプタは付属の物を使用する。 本機付属以外の AC アダプタは、接続できても絶対に使用しないでください。 火災・故障の原因になります。

⚠警 告

水濡れ禁止	■水にぬらさない。 飲み物や液体をこぼさないでください。 感電・故障の原因になります。 もし、本体に液体がこぼれてしまったときは AC アダプタを外し、電源をオフしてください。 その後、当社営業部までご連絡ください。
風呂での使用禁止	■湿気の多い場所で使用しない。 お風呂や湿気の多い場所では、使用しないでください。 感電・火災・事故・故障の原因になります。

⚠警 告

 ぬれ手禁止	■濡れた手での使用やプラグの抜き差しをしない。 手が濡れた状態で、機器の使用やプラグの抜き差しをしないでください。 感電・故障の原因になります。

⚠注 意

⚠ 注意	■使用・保管場所の注意 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、極端な気温差のある場所、ホコリの多い場所での長時間の使用・保管は避けてください。 使用温度範囲は 5～35℃の屋内で使用してください。 結露した状態では使用できません。
⚠ 注意	■お手入れの際の注意 本機が汚れたときは、乾いた布か、中性洗剤の溶液に浸して硬く絞った布で拭いてください。 機器に水がかかると故障の原因になります。 シンナーやベンジンなどは使わないでください。 表面が傷つくことがあります。

⚠注 意

禁止	落としたり、叩いたり、強い衝撃を与えないでください。機器の上に物を置かないでください。 故障の原因になります。
禁止	本機に AC アダプタや USB ケーブルが接続されているとき、コネクタに強い力を掛けたり、ケーブルを引っ張らないでください。 故障の原因になります。

（外部 microSD スロットにカードを入れる時のご注意）

microSD カードをスロットに挿す時は、カードの向きを確認してください。

四隅の内、一ヶ所だけ、角が切り取られている所がありますので、この角が左奥になる向きで挿入してください。

カードを挿す時に力はいりませんが、カードが斜めになっていると、周りに少し引っ掛かることがあります。無理に入れようとするとカードが破損することがありますので、向きを調節しながらゆっくり差し込んでください。

奥まで入ったらカチッと音がしますので、指を離してください。少しだけ戻って固定されます。

また、SD カードを取りだす時は、カードの頭を奥に押し込んでから指を離してください。

するとカードが少し手前に出てきますので、指先でつまんで引き出してください。

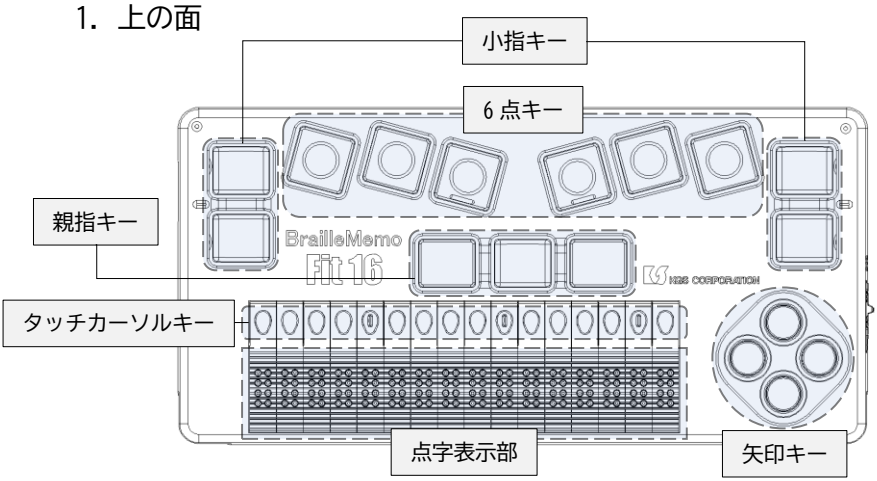
■3　製品及び同梱品の確認

Braille Memo Fit 16 には次の内容のものが含まれています。パッケージを開けて内容物をご確認ください。不足のものがある場合は、お買い上げになった販売店までご連絡ください。

No.	名称	備考	数量
1	Braille Memo Fit 16	製品本体	1
2	AC アダプタ		1
3	USB ケーブル	Type-C to Type-C 1m	1
4	ユーザーズマニュアル	墨字版・点字版	1
5	保証書		1
6	バッテリー	本体に取り付け済み	1
7	microSD カード	本体に取り付け済み	1
8	SD カードアダプタ	サイズ変換用	1
9	キャリングケース		1
10	ストラップ		1

■4　各部の名称

1. 上の面



BMFit16 の上の面には、点字表示部（16 マス）と、合計 17 個の操作キーがあります。

点字表示部（16 マス）
文字を点字で表示する部分です。

タッチカーソルキー（16 個）
点字表示部のすぐ奥に、縦長の小さなボタンが 1 マスにつき 1 つ並んでいます。押すと、そのマスにカーソルが移動します。

矢印キー（上下左右）
点字表示部の右側に、丸いキーが十字形に 4 つ並んでいます。
メニュー操作や文章内の移動で、上下左右の移動に使います。

「6 点キー」
上の面の中央奥に、左右 3 つずつ横に並んだキーが 6 点キーです。

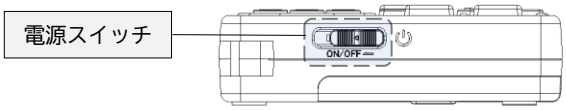
点字の文字入力を行うときに使用します。
左から順に
3 の点キー、2 の点キー、1 の点キー
（少し間が空いて）
4 の点キー、5 の点キー、6 の点キー
6 つのキーを組み合わせて点字を入力します。

「親指キー」
6 点キーの手前に、横に 3 つ並んだキーが親指キーです。
左：エンターキー
中央：コマンドキー
右：スペースキー
組み合わせ操作
コマンドキー ＋ スペースキー → デリート（削除）
コマンドキー ＋ エンターキー → バックスペース（１文字前を削除）
コマンドキー ＋ エンターキー ＋ スペースキー → エスケープ（キャンセル）
以降、本マニュアルでは各操作を「デリート」「バックスペース」「エスケープ」と表記します。

「小指キー」
6 点キーの左右に、縦に 2 つずつ並んだキーです。
左側
奥：コントロールキー
手前：オルトキー
右側
奥：セレクトキー
手前：ウィンキー

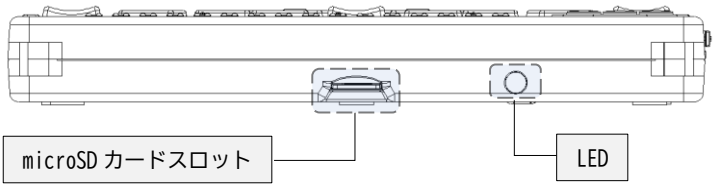
役割
コントロールキーまたはセレクトキー → 表示の戻しキー（点字表示を戻すとき）
オルトキーまたはウィンキー → 表示の送りキー（点字表示を送るとき）
点字を読む手と反対の手で操作できるため、スムーズに読み進めることができます。

2. 右の面



電源スイッチ
電源のオン／オフに使うスライドスイッチです。
オン／オフするときは、手前方向へ 2～3 秒ほど長めにスライドします。

3. 手前の面



microSD カードスロット
データ保存用の microSD カードを挿入します。
32GB までのカードに対応しています。
本機を起動するには microSD カードが必ず必要です。
基本的には取り外さずにご使用ください。

LED

microSD カードスロットより少し右側にあり、以下の条件で点灯または点滅します。

緑色に点灯：電源オン時

青色に点灯：電源オン時、Bluetooth 接続中

赤色に点滅：電源オフ時、バッテリー充電中

赤色に点灯：電源オフ時、バッテリー充電完了

電源オン時に USB 接続をしてバッテリーを充電する場合、色が混ざって以下のように見えることがあります。

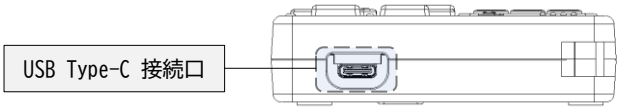
緑色と橙色が交互に点灯：電源オン時、バッテリー充電中

橙色に点灯：電源オン時、バッテリー充電完了

青色と赤紫色が交互に点灯：Bluetooth 接続中、かつバッテリー充電中

赤紫色に点灯：Bluetooth 接続中、かつバッテリー充電完了

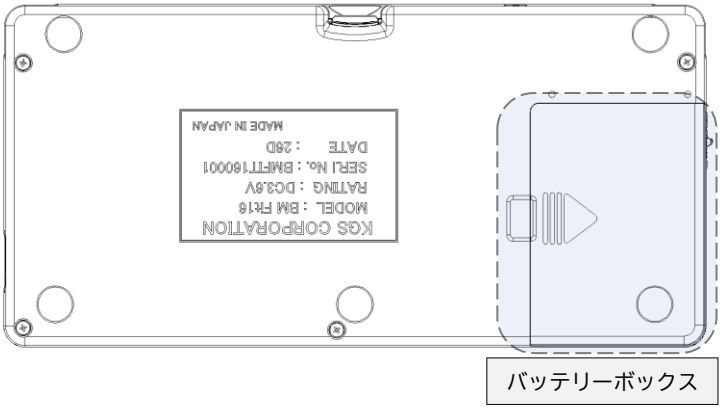
4. 左の面



USB Type-C 接続口

付属の AC アダプタで充電するとき、またはパソコンと接続して使用するときに使います。

5. 裏の面



バッテリーボックス
バッテリーは、本体に取り付けた状態で出荷されています。
空の状態からのバッテリー充電時間は、およそ 3 時間、バッテリーのみでの標準的な製品使用時間は、およそ 16 時間です。
本体のバッテリー残量が少なくなると、スポットメッセージで定期的に「充電してください」と表示されます。

バッテリーボックスのフタを外す場合は、ギザギザの溝の辺りに親指の先を押し付けながら、側面側に押してください。
なお、バッテリーを取り外す際は、必ず USB ケーブルを取り外し、電源をオフしてから行うようご注意ください。
また、正しい向きでないとバッテリーは入らないように作られておりますので、無理な力をかけないようご注意ください。

■5　点字編集

点字編集機能では、点字入力で文書の作成を行うことができます。
本機では、点字表示部のうち下 2 本のピンの点滅を用いてカーソルを表しています。
新規作成機能で新たなファイルを作成する、もしくはファイル一覧から既存のファイルを編集することができます。

（対応点字文書形式）
本機の点字文書編集機能では、以下の形式に対応しています。
BMT
BRL
BES
BET
BSE
NAB
本機で作成された文書は BMT 形式で保存されます。
各拡張子で読み込まれた文書を編集した場合、その形式で保存できます。

（編集可能な文書の容量について）
編集可能な文書容量は、本文データとして最大約 490KB 前後を目安とします。
ただし、文書形式、行数、書式情報、編集状態により扱える容量は前後します。
上限付近では、貼り付け・入力・改行など文書容量が増える操作が制限される場合があります。
特に、上限ぎりぎりの文書では入力不可範囲が前後する場合があります。

（点字編集メニュー）
メインメニューで「1 点字編集」を選ぶと、次のメニューが表示されます。
メニューは上下矢印キーで項目を切り替え、エンターキーまたはタッチカーソルキーで選択します。
「点字編集メニュー」
ファイル一覧　保存されている文書を開きます。
新規作成　新規文書を作成します。
ごみ箱　不要となって削除した文書を一時的に保管します。
ファイル一覧の更新　microSD カード内の文書情報を読み込み直し、ファイル一覧を更新します。
閉じる

（メニュー項目の「不可」表示について）
現在の状態では実行できないメニュー項目には、「不可」と表示されます。
接続状態や文書の状態などにより使用できない機能を、メニュー上で確認できます。

（新規文書の作成）
新しく点字文書を作成するには、以下のように操作します。
(1) 点字編集メニューで「新規作成」を選ぶと、文書名入力画面が開きます。
(2) 先頭に「文書名」と表示され、入力開始位置のピンが上下に動きます。
(3) 文書名を 64 文字以内で入力してエンターキーを押すと、点字編集画面が開きます。

※文書名を入力せずにエンターキーを押すと、文書名「だいめいなし」の文書が保存されます。
編集画面での操作方法は、後述の「点字編集画面での操作」の内容をご参照ください。

（文書を閉じる）
作成中の文書編集画面を閉じるには、以下のように操作します。
(1) エスケープキーを押すと、「保存しますか」というメッセージが表示されます。
(2) 送りキーを押すと「はい　y」/「いいえ　n」のボックスが表示されますので、保存する場合は「はい」、保存しないでそのまま文書を閉じる場合は「いいえ」の上のタッチカーソルキーを押します。
(3) 編集中の画面に戻るには、エスケープキーを押してください。

（文書を開く）
保存されている文書を開くには、点字編集メニューの「ファイル一覧」から操作します。
(1) 点字編集メニューで「ファイル一覧」を選択します。
最初にフォルダ一覧が表示されます。
フォルダ一覧には、以下の項目が表示されます。
すべて：保存されているすべての文書を表示します。
未分類：どのフォルダにも割り当てられていない文書を表示します。
新規フォルダ：新しいフォルダを作成します。
「新規フォルダ」の後には、作成したフォルダが表示されます。
(2) 上下矢印キーで開きたい項目を選択し、エンターキーを押します。
(3) 文書一覧が表示されたら、上下矢印キーで目的の文書を選択します。
(4) エンターキーまたはタッチカーソルキーを押すと、選択した文書の点字編集画面が開きます。

（フォルダについて）
フォルダは、本機上で文書を分類して管理するための機能です。
実際のmicroSDカード内にフォルダを作成して文書を移動するものではなく、本機が文書とフォルダの対応関係を管理しています。
文書ファイルそのものは、通常の文書領域に保存されたまま使用されます。

（新しいフォルダを作成する）
フォルダ一覧で「新規フォルダ」を選択すると、フォルダ名の入力画面が開きます。
フォルダ名を入力してエンターキーを押すと、新しいフォルダが作成されます。
作成したフォルダは、「新規フォルダ」の後に表示されます。

（文書をフォルダへ移動する）
文書一覧で、移動したい文書にカーソルを合わせてコントロールキー ＋ M（1･3･4の点)を押します。
移動先の一覧が表示されるので、「未分類」または作成済みのフォルダを選択し、エンターキーを押します。
作成済みのフォルダがない場合は、「未分類」のみ選択できます。
この操作は、「すべて」「未分類」、作成済みフォルダのいずれの文書一覧からでも行うことができます。

（フォルダを削除する）
フォルダ一覧で削除したいフォルダを選択し、デリートキーを押すと、削除確認が表示されます。
フォルダを削除しても、そのフォルダに登録されていた文書は削除され

ません。
削除したフォルダに登録されていた文書は、「未分類」に移動します。

（フォルダ名、文書名の変更）
フォルダまたは文書にカーソルを合わせて、コマンドキー ＋ エンターキーを押すと、名前を変更できます。

（ファイル一覧での検索）
ファイル一覧では、表示している一覧に応じて検索対象が変わります。
フォルダ一覧では、フォルダ名の検索ができます。
文書一覧では、「文書名検索」と「全文書検索」の 2 種類の検索ができます。
文書名検索は、文書名の一部を入力して、目的の文書を探すときに使用します。
全文書検索は、文書の中に書かれている言葉を入力して、その言葉を含む文書を探すときに使用します。
エスケープ（エンターキー ＋ コマンドキー ＋ スペースキー）を押すと、検索結果をキャンセルして検索前の一覧に戻ることができます。

フォルダ名検索
以下の操作で、フォルダ名検索ができます。
(1) フォルダ一覧でコントロールキー ＋ F(1･2･4 の点)を押します。
(2) 検索したい文字列を入力し、エンターキーを押します。
(3) 検索でヒットしたフォルダ名が一覧で表示されます。

文書名検索
以下の操作で、文書名検索ができます。
(1) 文書一覧でコントロールキー ＋ F(1･2･4 の点)を押します。

(2) 検索したい文字列を入力し、エンターキーを押します。
(3) 現在表示している文書一覧の中から、検索でヒットした文書名が一覧で表示されます。

全文書検索

以下の操作で、全文書検索ができます。
(1) 文書一覧でコントロールキー + セレクトキー + F(1･2･4 の点)を押します。
(2) 検索したい文字列を入力し、エンターキーを押します。
(3) 現在表示している文書一覧の中から、検索でヒットした文書名と、検索した文字列がある行番号が一覧で表示されます。
(4) 表示された一覧から文書を開くと、検索した文字列の位置にカーソルが移動します。

（フィルタ機能について）

フィルタ機能とは、ファイル一覧に表示する文書の種類を制限してファイル一覧をコンパクトに表示することで、目的のファイルを探しやすくする機能です。
文書一覧でコントロールキーと右矢印キーを押すと、以下のように表示する種類を切り替えることができます。
bmt－ブレイルメモ点字文書
bes・bet－Bes または Bet 形式点字文書
brl－標準点字文書
nab・bse－bse 形式またはコータクンの形式の点字文書
文書一覧でコントロールキーと左矢印キーを押すと、以下のように表示する種類を切り替えることができます。
nab・bse－bse 形式またはコータクンの形式の点字文書

brl－標準点字文書
bes・bet－Bes または Bet 形式点字文書
bmt－ブレイルメモ点字文書
その他の操作については、「ファイル一覧での操作」の内容をご参照ください。
（ファイル一覧での操作）
ファイル一覧では、表示している一覧に応じて以下の操作を行うことができます。

フォルダ一覧
上下矢印キー：項目を 1 つずつ移動
右矢印キー：10 項目後ろへ移動
左矢印キー：10 項目前へ移動
エンターキー：選択した項目を開く
エスケープキー：前の画面に戻る
デリートキー：選択したフォルダを削除
コマンドキー ＋ エンターキー：選択したフォルダ名を変更
コントロールキー ＋ F(1･2･4 の点)：フォルダ名を検索

文書一覧
上下矢印キー：文書を 1 つずつ移動
右矢印キー：10 文書後ろへ移動
左矢印キー：10 文書前へ移動
エンターキー、タッチカーソルキー：選択中の文書を開く
エスケープキー：前の画面に戻る
コマンドキー ＋ スペースキー（デリート）：選択中の文書をごみ箱へ移動
コントロールキー ＋ 右矢印キー：フィルタ機能－表示する文書形式を

次の形式へ切り替える
コントロールキー ＋ 左矢印キー：フィルタ機能－表示する文書形式を前の形式へ切り替える
コマンドキー ＋ エンターキー：選択中の文書名を変更
コントロールキー ＋ M(1・3・4の点)：文書の移動先を選択
コントロールキー ＋ C(1･4の点)：選択中の文書をコピー
コントロールキー ＋ V(1･2･3･6の点)：コピーした文書を貼り付け
コントロールキー ＋ F(1･2･4の点)：現在表示している文書一覧から文書名を検索
コントロールキー ＋ セレクトキー ＋ F(1･2･4の点)：現在表示している文書一覧から全文書検索
コントロールキー ＋ T(2･3･4･5の点)：ごみ箱を開く
コマンドキー ＋ スペースキー ＋ セレクトキー：選択中の文書を完全に削除する
オルトキー ＋ コントロールキー ＋ 上矢印キー：一番上の文書に移動
オルトキー ＋ コントロールキー ＋ 下矢印キー：最後の文書に移動

（文書のコピー）
文書一覧でコピーしたい文書を選択し、コントロールキー ＋ C(1・4の点)を押します。
続けてコントロールキー ＋V(1・2・3・6の点)を押すと、文書のコピーが作成されます。
BMT、BES、BET形式の文書は文書名情報を持つため、コピー時に文書名の入力画面が開きます。
文書名を入力してエンターキーを押すと、コピーが完了します。
※同じ文書名でも複製可能です。
※フォルダ一覧、ごみ箱では、文書のコピー・貼り付け操作は使用できません。

※コピー元の文書が編集されている場合は、編集後の内容がそのままコピーされます。

（ファイル一覧の更新）
ファイル一覧の更新は、microSD カード内の文書情報を読み込み直し、現在の状態をファイル一覧へ反映する機能です。
本機で新規作成した文書は自動的にファイル一覧へ登録されます。
一方、パソコンなどを使用して microSD カード内の文書を直接追加・削除した場合は、本機ではその変更を自動的に追跡できないため、ファイル一覧に正しく反映されない場合があります。
このような場合は、点字編集メニューの「ファイル一覧の更新」を実行してください。
通信で受信した文書は、受信後に更新を実行するかのダイアログが開かれます。※更新を実行しない場合、一覧には反映されません。
「ファイル一覧の更新」を実行すると、microSD カード内の現在の文書情報を読み込み直し、ファイル一覧へ反映します。

（ごみ箱について）
ファイル一覧や点字編集機能メニューで文書を削除すると文書はごみ箱に移動します。
[注意]文書を完全に削除すると元に戻すことはできません。

ごみ箱では以下の操作を行うことができます。
コントロールキー ＋ D(1･4･5 の点)：ごみ箱を空にする(ごみ箱内の文書を完全に削除)
コントロールキー ＋ スペースキー：選択中の文書を完全に削除
エンターキー、タッチカーソルキー：選択中の文書を復元する(選択中の文書をファイル一覧に戻す)

コントロールキー ＋ L(1･2･3 の点)：ファイル一覧に移動する
コントロールキー ＋ F(1･2･4 の点)：ごみ箱内を文書名検索する
コントロールキー ＋ セレクトキー ＋ F(1･2･4 の点)：ごみ箱内を全文書検索する

（新規作成、最後の文書のショートカット）
メインメニュー、点字編集メニューでは、オルトキーと 1・3・4・5 の点を同時に押すことですぐに新規作成を行うことができます。
また、メインメニュー、点字編集メニュー、ファイル一覧では、オルトキーと 1・2・3・4 の点を同時に押すことで、最後に開いていた文書を開くことができます。

（点字編集画面での操作）
点字編集画面では、文字入力、文書の移動、検索、編集など、さまざまな操作を行うことができます。
ここでは、操作の目的ごとにご説明します。

1. 文字入力と基本的な編集操作
点字を入力するには、6 点キーを使います。
文字の入力中は、以下の操作が利用できます。
コマンドキー ＋ エンターキー：バックスペース（カーソルの前の文字を削除）
コマンドキー ＋ スペースキー：デリート（カーソルの後ろの文字を削除）
エンターキー：改行を挿入
コントロールキー ＋ エンターキー：改ページを挿入
コントロールキー ＋ S(2・3・4 の点)：文書を保存(既存のものは上書き、新規は文書名入力)

エンターキー ＋ コマンドキー ＋ スペースキー：エスケープ(点字編集画面から抜ける)
コントロールキー ＋ P(1・2・3・4の点)：カーソル位置を表示(Pはページ、Lは行、Cはマスを指し、それぞれの位置を数値で示します。)
コントロールキー ＋T(2・3・4・5の点)：現在のカーソル位置にタイムスタンプを挿入
コントロールキー ＋ セレクトキー ＋ T(2・3・4・5の点)：タイムスタンプの設定を開く

（タイムスタンプ）
点字編集中に、現在の日付と時刻を文書内へ挿入できます。
タイムスタンプの書式は、以下の項目から設定できます。
項目：日付と時刻／日付のみ／時刻のみ
日付：月日／年月日
曜日：なし／あり
時刻：時分／時分秒
時刻表記：24時間／12時間

2. カーソルの移動操作

文書内を移動するには、表示の送り・戻しキーや矢印キーを使います。
その他にも、以下の操作でカーソル移動することができます。
長い文書を編集する際は、段落やページ単位での移動が便利です。

左右矢印キー：1マス移動(行頭で左矢印キー＝前の行、行末で右矢印キー＝次の行)
上下矢印キー：1行移動
コントロールキーまたはセレクトキー：表示の戻し、行頭の場合は前の行に移動し、それ以外は同じ行の前を表示

オルトキーまたはウィンキー：表示の送り、行末の場合は次の行に移動し、それ以外は同じ行の続きを表示
コントロールキー ＋ 左右矢印キー：単語間でカーソルを移動
コントロールキー ＋ 上矢印キー：行頭にカーソルを移動
コントロールキー ＋ 下矢印キー：行末にカーソルを移動
上矢印キー ＋ 左矢印キー：前のページの先頭へ
下矢印キー ＋ 右矢印キー：次のページの先頭へ
オルトキー ＋ 右矢印キー：次の段落へ
オルトキー ＋ 左矢印キー：前の段落へ
オルトキー ＋ コントロールキー ＋ 上矢印キー：文書の先頭へ
オルトキー ＋ コントロールキー ＋ 下矢印キー：文書の末尾へ
タッチカーソルキー：押したタッチカーソルキーのマスにカーソルを移動
上矢印キー ＋ 下矢印キー：カーソル位置に移動
左矢印キー ＋ 右矢印キー：カーソル表示のオン／オフ切り替え
コントロールキー ＋G(1・2・4・5の点)：ページ・行・マスを指定してカーソルを移動

（場所を指定して移動）
今開いている文書内で、移動したい位置（ページ・行・マス）を直接指定して移動できます。
実行すると、ページ、行、マスの値を選択できるメニューが開きます。
移動したい先の値を設定し、エンターキーで確定すると、その位置にカーソルが移動します。
※行は、現在選択中のページの最大値までしか選択できません。
※マスは、現在選択中の行の最大値までしか選択できません。
※ページの値を変更すると、行とマスの値は１にリセットされます。
※行の値を変更すると、マスの値は１にリセットされます。

3. ブックマーク・見出し・マークの活用

文書内の特定の位置を、ブックマークや見出し設定して記録しておくことができます。

（ブックマーク）

コントロールキー ＋B(1・2の点)：今表示している行をブックマーク行に設定。設定済みの場合は解除。

コントロールキー ＋ 左矢印キー ＋ 右矢印キー ＋ 上矢印キー：今表示している行より前のブックマーク行に移動

コントロールキー ＋ 左矢印キー ＋ 右矢印キー ＋ 下矢印キー：今表示している行より後ろのブックマーク行に移動

（見出し）

コントロールキー ＋ H(1・2・5の点)：今表示している行を見出し行に設定。設定済みの場合は解除。

左矢印キー ＋ 右矢印キー ＋ 上矢印キー：今表示している行より前の見出し行に移動

左矢印キー ＋ 右矢印キー ＋ 下矢印キー：今表示している行より後ろの見出し行に移動

（マーク）

コントロールキー ＋ M(1・3・4の点)：今のカーソル位置をマーク

オルトキー ＋ 上矢印キー：マークにジャンプ、マークした位置にカーソルを移動

オルトキー ＋ 下矢印キー：ジャンプ前の位置に戻る

（ブックマーク行一覧、見出し行一覧）

ブックマーク行の一覧と見出し行の一覧を確認できます。
各一覧の１行目には、条件に一致した行の件数が表示されます。
見出し行の一覧：セレクトキー ＋ コントロールキー ＋H(1・2・5の点)
ブックマーク行の一覧：セレクトキー ＋ コントロールキー ＋B(1・2の点)

4. 範囲選択

文章の一部をコピー・削除したい場合は、まず範囲を選択します。
選択中は対象の範囲の7・8の点が上がります。
選択している範囲に対しては、コピーや切り取りなどの操作を一括で行うことが可能です。
文書の一部をそのまま別の行に移動する際に便利です。
セレクトキー ＋ 左右矢印キー：カーソル移動に合わせて範囲選択
セレクトキー ＋ コントロールキー ＋ 左右矢印キー：単語単位で範囲選択
タッチカーソルキー：押したタッチカーソルキーのマスにカーソルを移動
セレクトキー ＋ タッチカーソルキー：カーソル位置から指定マスまで選択

5. コピー・切り取り・貼り付け

選択した範囲に対して、以下の編集が行えます。
コントロールキー ＋ C(1・4の点)：選択された範囲をコピー
コントロールキー ＋ X(1・3・4・6の点)：選択された範囲を切り取り
コントロールキー ＋ V(1・2・3・6の点)：コピーした内容を貼り付け

（クリップボードについて）
点字編集画面でコピーした内容は、電卓や１行編集画面にも貼り付ける

ことができます。
電卓、文書名の変更、予定入力などの１行編集画面では、以下の操作が可能です。
コントロールキー ＋C(1・4の点)：表示内容をすべてクリップボードにコピー
コントロールキー ＋V(1・2・3・6の点)：クリップボードに保存されているデータを貼り付け
また、編集禁止状態の文書でもコピー操作を行うことができます。

6. 元に戻す・やり直す

編集操作を取り消したり、取り消した操作をやり直したりできます。
コントロールキー ＋ Z(1・3・5・6の点)：直前の編集操作を取り消す
コントロールキー ＋ Y(1・3・4・5・6の点)：取り消した編集操作をやり直す

7. 検索

文書内の点字文字列を検索できます。
検索は以下の手順で行うことができます。
(1) コマンドキー ＋M(1・3・4の点)を押して編集メニューを開き、「検索」 → 「新規検索」の順に進みます。
もしくはコントロールキー ＋F(1･2･4の点)で新規検索を開始します。
(2) 検索したい文字列を入力します。
(3) 検索方向を選択します。(前、後ろ、始めから)
各方向が表示されている点字セルのタッチカーソルキーを押すか、「ま」(まえ)、「う」(うしろ)、「は」(はじめから) のうちいずれかを6点キーで入力することで方向を指定できます。
一致する候補があれば、その位置へ移動します。

コントロールキー ＋ F(1・2・4の点)：新規検索を開始
セレクトキー ＋ スペースキー：後ろ方向を検索
セレクトキー ＋ エンターキー：前方向を検索

8. 文字列置換

文書内の点字文字列の置き換えができます。
文字列置換は以下の手順で行うことができます。
（１）コマンドキー ＋M(1･3･4の点)を押して編集メニューを開き、「検索」 → 「置き換え」の順に進みます。
もしくはコントロールキー ＋ R(1･2･3･5･の点)で置き換えを開始します。
（２）置換前の文字列を入力し、エンターキーを押します。
（３）置換後の文字列を入力し、エンターキーを押します。
（４）上下カーソルキーで置き換えの範囲を選択します。
　次を置き換え：カーソル位置より後ろにある対象の文字列ひとつを置き換えます。
　ここからすべて置き換え：カーソル位置より後ろにある対象の文字列すべてを置き換えます。
　すべて置き換え：文書内にある対象の文字列すべてを置き換えます。

コントロールキー ＋ R(1･2･3･5の点)：置き換えを開始
コントロールキー ＋ セレクトキー ＋ R(1･2･3･5の点)：次を置き換え
　次を置き換えの操作は事前に置き換えを開始して置換前後の文字列入力が必要です。

（つなぎ符・行末・文書末の表示）
つなぎ符とは、点字表示部の後ろに空白のマスが表示されている場合に、それがマス空けなのかワードラップによって何も表示されていないのかを区別するための記号です。
また、行末と文書末にはマークが表示されます。
表示されるマークは以下の通りです。

ワードラップ：5・6の点(点滅)
行末：4・6・8の点(点滅)
改ページ、文書末：4・5・6・8の点(点滅)

（電卓を使用する）
点字編集中に、コマンドキーと1・2・4・6の点を押すことで、電卓を開くことができます。
この電卓は、アクセサリ機能の電卓と同じ動作をします。
電卓の画面でエスケープキーを押すと、編集中の文書に戻ります。
電卓で計算した直近の結果は、コントロールキー ＋ 1・2・3・4・5・6の点で点字編集画面のカーソル位置に挿入できます。

（点字編集からラベルを印刷する）
点字編集画面では、選択中の範囲をBL-1000 LINKへ送信して、点字ラベルを印刷することができます。
印刷したい範囲を選択し、ウィンキー ＋ L(1・2・3の点)を押すと、選択範囲の印刷を開始します。
※選択範囲がない場合は印刷できません。
※BL-1000 LINKと接続していない場合は印刷できません。接続方法は、「■9　通信機能　(Bluetooth機器の接続)」をご参照ください。
※一度に印刷できる文字数は64文字までです。

※選択範囲内の改行は印刷時に無視されます。

（点字編集機能メニュー）
点字編集画面でコマンドキー ＋ M(1・3・4の点)を押すと機能メニューが開かれます。
機能メニューは、以下のような構造になっています。

「1 ファイル」
保存：編集中のファイルを上書き保存します。
名前を付けて保存：別ファイルとして文書名をつけて保存します。
ファイル一覧：ファイル一覧からファイルを開きます。
文書を削除：編集中のファイルを削除します。

「2 編集」
元に戻す：直前に行った操作を取り消して、一つ前の状態に戻します。
次に進む：元に戻した操作をやり直し、戻す前の状態に進めます。
コピー：選択した範囲の文章をコピーします。
切り取り：選択した範囲の文章を切り取ります。
貼り付け：コピーまたは切り取りした文章をカーソル位置に貼り付けます。
削除：選択した範囲の文章を削除します。
行頭まで削除：カーソル位置から行頭までの文章を削除します。
行末まで削除：カーソル位置から行末までの文章を削除します。
ここをマーク：カーソル位置をマークします。
マーク位置へ移動：カーソルをマークした位置に移動します。
ページ行の編集：ページ行の編集を行います。
タイムスタンプを入れる：現在のカーソル位置にタイムスタンプを挿入します。

タイムスタンプの設定：挿入するタイムスタンプの書式を設定します。
編集禁止にする：編集中の文書を編集禁止状態にします。
編集禁止を解除：文書の編集禁止状態を解除します。

「3 検索」
新規検索：文書内の点字文字列を検索します。
前を検索：新規検索と同じ文字列で、現在の位置より前を検索します。
後ろを検索：新規検索と同じ文字列で、現在の位置より後ろを検索します。
始めから検索：新規検索と同じ文字列で、現在の位置より文書の始めから検索します。
置き換え：文書内の点字文字列を置き換えします。
次を置き換え：現在の位置より後ろにある対象の文字列ひとつを置き換えます。
ここからすべて置き換え：現在の位置より後ろにある対象の文字列すべてを置き換えます。
すべて置き換え：文書内にある対象の文字列すべてを置き換えます。

「4 移動」
次の見出しへ：カーソル位置を次の見出し行の 1 マス目に移動します。
前の見出しへ：カーソル位置を前の見出し行の 1 マス目に移動します。
次のブックマーク行へ：カーソル位置を次のブックマーク行の１マス目に移動します。
前のブックマーク行へ：カーソル位置を前のブックマーク行の１マス目に移動します。
次の字下げ行へ:カーソル位置を次の字下げ行の１マス目に移動します。
前の字下げ行へ:カーソル位置を前の字下げ行の１マス目に移動します。
次の行区切りへ：カーソル位置を次の行区切り（空行で区切られたブロ

ックの先頭）の１マス目に移動します。
前の行区切りへ：カーソル位置を前の行区切り（空行で区切られたブロックの先頭）の１マス目に移動します。
次のページへ:カーソル位置を次のページの１行１マス目に移動します。
前のページへ:カーソル位置を前のページの１行１マス目に移動します。
場所を指定して移動：ページ・行・マスを指定してカーソルを移動します。

「5 データ」
文書名の編集：文書に付ける点字の名前を編集します。
書式設定：ページ行の有/無、１ページの行数や１行のマス数を設定します。
見出し行に設定：今表示している行を見出し行にします。
見出し行をクリア：今表示している行の見出し行設定をクリアします。
ブックマーク行に設定：今表示している行をブックマーク行に設定します。
ブックマークをクリア：今表示している行のブックマーク行設定をクリアします。
見出し行の一覧：文書内の見出し行を一覧表示します。
ブックマーク行の一覧：文書内のブックマーク行を一覧表示します。
保護形式の設定：文書の保護形式の設定または解除を行います。

（保護形式について）
保護形式の文書には、一般形式と専用形式があります。
一般形式
読み込んで内容を閲覧できますが、内容の変更はできません。
専用形式
本機出荷時に書き込まれたアクセスキーが一致する機械でのみ文書を

開くことができます。内容の変更はできません。
※アクセスキーとは、本体固有で登録されている 10 桁の番号です。本機では、コマンドキー ＋ Ｉ（2・4 の点）のショートカットで確認できます。

（保護キーについて）
保護形式文書は保護キーで保護されています。保護キーは 6～15 マスの点字データで設定します。
通常文書で「保護形式の設定」を実行した場合は、一般形式または専用形式を選択し、保護キーを入力します。確認のため同じ保護キーを再度入力し、一致すると保護形式文書として保存されます。
すでに保護形式の文書で実行した場合は、保護形式を解除するか確認します。保護キーが一致すると保護形式が解除され、保存されます。
※保存に失敗した場合、保護形式の設定または解除は無効になります。

「6 設定」
行移動後のカーソル：同じ位置/行頭
カーソルオフ時のつなぎ符：消す/残す　行末/文書末の表示とワードラップ表示の有無を設定します。
保存の確認：する/しない　文書を閉じる際に、保存の確認を行うかを選択します。「しない」に設定されている場合自動で保存されます。
起動時にファイル一覧を開く：オフ/オン　本機を起動時にファイル一覧を開くかを設定します。
カーソルオフを保存する：する/しない　カーソルオフの設定が、文書を閉じても残されるかを設定します。
起動時に最後の文書を開く：オフ/オン　起動時に最後に開いた文書を開くかを設定します。この設定が有効な場合、どこから電源をオフしても起動時には文書が読み込まれます。

■6　電卓機能

電卓機能では、点字で書いた式を使って、通常の電卓と同様に、四則演算や関数を用いた計算を行うことができます。

1. 起動方法

(1)「メインメニュー」から「2 電卓」を選択し、エンターキーを押します。

(2)「けいさん:」と表示され、計算式の入力待ち状態になります。

(3) 点字で式を入力し、エンターキーで計算を実行すると、計算結果が表示されます。

2. 使用できる演算子・関数

電卓機能では、式の中で以下の記号を使用することができます。

・小数点：2 の点
・加算：2・6 の点
・減算：3・5 の点
・乗算：1・6 の点
・除算：3・4 の点　3・4 の点
・分数線：3・4 の点
・累乗：4・5 の点
・ルート：3・4・5 の点
・カッコ開き：2・3・6 の点
・カッコ閉じ：3・5・6 の点
・サイン（sin)：2・3・5 の点　2・3・4 の点
・コサイン（cos)：2・3・5 の点　1・4 の点
・タンジェント（tan)：2・3・5 の点　2・3・4・5 の点

3. 操作方法

計算画面では、以下のキー操作が利用できます。

（操作項目）

・エンターキー：計算を実行

・コントロールキー ＋ エンターキー：直前の計算結果を入力

・下矢印キー：（履歴表示中に）１つ前の履歴を呼び出す

・上矢印キー：（履歴表示中に）１つ次の履歴を呼び出す

・コマンドキー ＋ Ｍ（1・3・4の点）：電卓設定メニューを開く

・エスケープキー：電卓を閉じ、メインメニューに戻る

4. 設定

電卓機能では、計算に関する以下の設定を変更できます。

設定メニューはコマンドキー ＋ Ｍ（1・3・4の点）で開きます。

各項目の値を変更するには、左右矢印キーを使います（右で+1、左で-1）。

設定を確定するには、エンターキーを押します。

（設定項目）

・ラジアンを使用　する / しない

角度計算にラジアンを使用するか、度数法を使用するかを選択します。

・小数の桁数　0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5

計算結果の小数点以下の桁数を指定します。

・指数表示　する / しない

計算結果を指数表記で表示するかどうかを選択します。

・末尾のゼロ　消す / 消さない

計算結果の末尾に発生した不要なゼロを自動的に削除するかどうかを選択します。

■7　時計機能

時計機能では、現在の日時の確認に加え、アラーム、ストップウォッチ、カウントダウンタイマーなどの便利なツールを利用できます。

1. 起動方法

「メインメニュー」から「3　時計」を選択し、エンターキーを押すと、現在の時刻が表示されます。
表示中に下矢印キー、または左右矢印キーを押すと、日付表示に切り替わります。
コマンドキー ＋M(1・3・4の点)を押すと、「時計メニュー」が開き、時計に関連する機能を選択できます。

2. 時計メニュー一覧

メニュー内では以下の項目を選択できます。上下矢印キーで項目を選び、エンターキーで決定します。

A. 時計：現在の日時を確認します。
B. アラーム：指定した時刻に音と点字でお知らせします。
C. ストップウォッチ：経過時間やラップタイムを計測します。
D. カウントダウン：設定した時間のタイマー機能です。
E. 時刻を合わせる：本体の現在日時を設定します。

3. 各機能の詳細操作

A. 時計

現在の時刻と日付を表示します。
（操作項目）
上下 または 左右矢印キー：時刻表示と日付表示の切り替え
コマンドキー ＋M(1・3・4の点)：時計メニューを開く
エスケープキー：時計を閉じ、メインメニューに戻る

B. アラーム

指定した時刻に、点字とビープ音でお知らせします。複数のアラームを登録でき、個別にオン/オフや繰り返しの設定が可能です。
アラームは本体の電源が入っているときのみ有効です。

【アラームリストの操作】

アラームリストでは、登録されているアラームの一覧が表示されます。
また、アラームの追加、削除などの操作ができます。
初期状態では「アラームの追加」のみが表示されます。

（操作項目）

上下矢印キー：アラーム項目の移動
コントロールキー ＋ N(1・3・4・5の点)：新規アラームの作成
コントロールキー ＋O(1・3・5の点)：アラームのオン / オフ切り替え
コントロールキー ＋ R(1・2・3・5の点)：繰り返し設定のオン / オフ切り替え
コントロールキー ＋P(1・2・3・4の点)：アラーム時の電源オフ設定の切り替え
デリートキー：選択中のアラームを削除
タッチカーソルキー：各項目のオン/オフ切り替え

【アラーム項目の表示内容】

登録したアラームは、各行に１つずつ表示されます。
設定した時刻の後には、次の項目が表示されます。
項目：
アラーム－オン/オフ
電源を切る－オン/オフ
繰り返し－オン/オフ

オンは 3・4 の点で表示、オフは 3・6 の点で表示されます。
各項目の上のタッチカーソルキーを押すと、オン/オフを切り替えることができます。

【アラーム設定（時刻設定）画面】
アラームの時間を設定する際の操作です。アラームリストで「アラームを追加」を選択すると、新しいアラームを登録することができます。
また、既に登録したアラームを選択すると、アラームを編集することができます。
時刻を変更してエンターキーを押すと、設定した内容が有効になります。

（操作項目）
上下矢印キー：設定項目（時・分）の移動
左右矢印キー：数値の変更（右で+1、左で-1）
エンターキー：設定を確定して保存
エスケープキー：設定をキャンセル

C. ストップウォッチ
実際のストップウォッチのように時間の計測ができます。計測中に、ラップタイム（区間タイム）の記録も可能です。

（操作項目）
エンターキー：スタート / ストップ
スペースキー：ラップタイムを記録
上矢印キー：前のラップタイムを確認
下矢印キー：次のラップタイムを確認
コマンドキー + エンターキー：記録をリセット
エスケープキー：時計メニューに戻る

D. カウントダウン
指定した時間が経過した際に、点字とビープ音でお知らせします。

（操作項目）
コントロールキー：タイマーの設定画面を開く
上下矢印キー：設定項目（時間・分・秒）の移動
左右矢印キー：数値の変更（右で+1、左で-1）
エンターキー：カウントダウン開始（稼働中に押すと再スタート）
バックスペースキー：停止して設定状態に戻る
タッチカーソルキー：タイマー（アラーム音）を止める
エスケープキー：時計メニューに戻る

E. 時刻を合わせる
本体の日時を修正します。

（操作項目）
上下矢印キー：項目（年・月・日・時・分・秒）の移動
左右矢印キー：数値の変更（右で+1、左で-1）
エンターキー：設定を確定する

■8　カレンダーとスケジューラ

カレンダー機能では、日付の参照に加え、休日の設定やスケジューラ機能を利用できます。
スケジューラでは、予定の登録・確認・編集を行うことができます。

1. 起動方法

「メインメニュー」から「4 カレンダー」を選択し、エンターキーを押します。
カレンダーが開くと、今日の日付が表示されます。
上下・左右の矢印キーを使って日付の移動をすることができます。
予定や休日の設定状況に応じて、日付の前に以下の記号が表示されます。
予定が登録されている日：1・6の点
休みの日（休日）：3・4の点
休みの日で、かつ予定も登録されている日：1・3・4・6の点

2. カレンダーの基本操作

カレンダー内では、以下のキーを使用して日付を移動します。

（操作項目）
・右矢印キー：次の日付へ移動
・左矢印キー：前の日付へ移動
・上矢印キー：1週間前へ移動
・下矢印キー：1週間先へ移動
・コントロールキー ＋ 右矢印キー：次の予定がある日へ移動
・コントロールキー ＋ 左矢印キー：前の予定がある日へ移動
・コントロールキー ＋ 上矢印キー：前の月の同じ日付へ移動
・コントロールキー ＋ 下矢印キー：次の月の同じ日付へ移動
・オルトキー ＋ 左矢印キー：前の休日変更日へ移動

・オルトキー ＋ 右矢印キー：次の休日変更日へ移動
・スペースキー：今日の日付に戻る
・ウィンキー：年表示／日付表示の切り替え
・エスケープキー：カレンダーを閉じ、メインメニューに戻る

【休日の設定】
特定の日や曜日を休日に設定したり、設定した日を確認したりする操作です。
特定の曜日を休日に設定するには、「休日設定メニュー」内で変更することができます。
「平日」と「休み」を切り替えるには、スペースキーを押します。
注意：手動で「休日」に切り替えた設定は、休日に設定した対象日から1か月経過すると自動的に休日設定が削除されます。

（操作項目）
・セレクトキー：休日設定のオン／オフ（トグル）
・コマンドキー ＋ M（1・3・4の点）：休日設定メニューを開く

3. スケジューラ
スケジューラでは、予定の登録・確認・編集ができます。
1つの予定につき、以下の情報を登録できます。
(1) 予定の時間
(2) 予定の詳細（1行64文字まで）
【スケジュールの新規登録】
(1) 予定を登録したい日付でエンターキーを押すと、新しい予定を追加できます。
(2) まず、その日の予定時刻を設定する画面が開きますので、左右矢印キーを使って時・分をそれぞれ設定します。

右矢印キーを押すと数値が+1、左矢印キーを押すと-1 になります。項目を移動するには上下矢印キーを押します。
(3) エンターキーを押して時刻を決定すると、続けて予定の詳細を点字で入力できます。
内容を 64 文字以内で入力し、エンターキーで決定します。

（操作項目）
・エンターキー：スケジュール登録（スケジュールリスト／スケジューラを開く）
・上下矢印キー：設定項目（時・分）の移動
・左右矢印キー：数値の変更（右で+1、左で-1）

【スケジュールリスト】
すでに予定がある日付でエンターキーを押すと、その日に登録された予定が一覧で確認できます。
リストから予定を選択してエンターキーを押すと、内容を編集することができます。
同じ日に新しい予定を追加したい場合は、スケジュールリストでコントロールキー ＋ N（1・3・4・5 の点）を押します。
不要になった予定はデリートキーで削除できます。

（操作項目）
・上下矢印キー：リスト内の移動
・エンターキー：選択した予定を開く（編集）
・コントロールキー ＋ N（1・3・4・5 の点）：同じ日に追加で予定の作成
・デリートキー：選択中の予定を削除
・エスケープキー：カレンダー表示に戻る

■9　通信機能

本機には、以下のような通信機能があります。

1. スクリーンリーダーとの接続によるディスプレイモード
2. 文書の送受信
3. その他ユーティリティソフトとの通信
4. BL-1000 LINK との通信

本機では、2 種類の通信ポートで、さらに各 2 種類の通信方式を使用することができます。

(1) USB 通信

標準（シリアル）接続、HID 接続

(2) Bluetooth 通信

標準（クラシック）接続、HID 接続

※Bluetooth 通信の HID 接続は、現在開発中の機能です。

標準接続とは、PC や他の点字ディスプレイと接続する際に、COM ポートを利用する通信方法を指します。

通信相手から BMFit16 が接続されているポートを指定し、接続を開始します。

HID 接続とは、ドライバなしの状態から、接続するだけで点字ディスプレイとして使用することができるものです。

HID に対応しているスクリーンリーダーと接続を行うことで簡単に点字ディスプレイとして使用可能です。

本機では、外部機器からの接続要求による通信のほか、本機から Bluetooth 機器を探索して接続することもできます。

通信の状態については、メインメニューの「接続」メニューから設定を行うことが可能です。

接続メニューでは、
USB－しない/シリアル/HID
BT－しない/クラシック
を選択できます。
ここでは、それぞれのポートがどの方式で通信を行うかを選択できます。
「しない」に設定されている場合は、外部からの通信を受けないようになるため、その通信形態では通信機能を利用することができなくなります。
「シリアル」または「クラシック」が選択されている場合は、COM ポートでの通信のみ利用可能になります。
「HID」が選択されている場合は、HID の通信が確立する状態になると自動的に通信動作に移行するようになります。
また、接続メニューには「現在の通信を切断」の項目があります。
これを選択すると、現在接続されている通信ポートを切断できます。

（Bluetooth 機器の接続）
本機から周囲の Bluetooth 機器を探索し、ペアリング・接続することができます。
「接続」メニューから「BT 機器の接続」を選択すると、「機器を探す」と「登録済み機器」を選択できます。
機器を探す
周囲を探索し、接続可能な Bluetooth 機器を一覧表示します。
一覧の先頭には表示件数が表示されます。
接続する機器を選択してエンターキーを押すと、ペアリングと接続を行います。
登録済み機器
本機から接続したことのある Bluetooth 機器が一覧表示されます。
エンターキー：選択した機器への接続を行います。

デリートキー：選択した機器の登録情報を削除します。
※一定時間が経過しても接続できなかった場合は、接続失敗が通知されます。

（Bluetooth のセキュリティ設定）
登録していない Bluetooth 機器からの接続を許可するか設定できます。
未登録機器との接続
（設定値）する／しない
「する」に設定した場合は、登録されていない機器からも接続できます。
「しない」に設定した場合は、本機に登録されていない機器から接続することはできません。

（Bluetooth デバイス名について）
本機は、外部から探索を受けた際に次のような形式でデバイス名が表示されます。
BM-Fit16-XXXX（XXXX は各個体特有のシリアル番号です）
この表示形式により、同じ機械が近くに複数あっても自分の個体を正しく選択することができます。
なお、自分の機械のシリアル番号はグローバルショートカット「コマンドキー ＋ I(2・4 の点)」で確認することができます。
詳しくは、「グローバルショートカット」をご確認ください。

（Bluetooth ペアリング手順　Windows 11 の場合）
(1) PC とデバイスの電源が入っていることを確認します。
(2) 「Windows」キー ＋ 「I」キーを押します。
(3) Windows の設定画面で「Bluetooth とデバイス」を選択します。
右側の領域で「デバイスの追加」を選択します。
(4) 「Bluetooth」を選択します。

(5) 「すべてのデバイスを表示」を選択します。
(6) 「BM-Fit16-XXXX」を選択します。
(7) ペアリング設定完了後、(3)の操作から「その他の Bluetooth 設定」を選択し、COM ポートを確認してください。
接続ポートを選択する際は、ポート方向が「発信」側のポート番号を選択してください。

Bluetooth での通信時、接続が確立している際は本機の LED が青色に点灯します。
また、接続開始時及び切断時にはビープ音で通知します。

（USB 接続手順）
USB ケーブルで PC と接続すると、本機は USB デバイスとして認識されます。
接続方式を「シリアル」に設定している場合は、PC 側に COM ポートが作成されます。
通信ソフトやスクリーンリーダーでは、この COM ポートを指定して接続します。

なお、「シリアル」での通信には専用のドライバインストールが必要となります。
ドライバは以下からダウンロードいただけます。
Silicon labs 社（ダウンロードページ）
https://www.silabs.com/software-and-tools/usb-to-uart-bridge-vcp-drivers?tab=downloads

ファイルは圧縮されているため、インストールする前にファイルを解凍してください。

ファイル名：CP210x_Univeral_Windows_Driver.zip
(1) Windows ファイルエクスプローラーを使用して、ダウンロードしたファイルを解凍してできたフォルダを開きます。
(2) silabser.inf ファイルでコンテキストメニューを開き、「インストール」を選択します。

接続方式を「HID」に設定している場合は、対応したスクリーンリーダーで自動的に点字ディスプレイとして認識されます。

（スクリーンリーダーとの接続によるディスプレイモード）
本機は、パソコンと接続することで、点字ディスプレイとしてご利用いただけます。
ご利用の際には、パソコン側でスクリーンリーダーや点字対応ソフトウェアが必要です。
ソフトウェアの操作方法は、各ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。

（ディスプレイモードと手帳モード）
本機をパソコンと接続をして点字ディスプレイとして使用するモードを「ディスプレイモード」と呼びます。
このモードでは、キー操作はすべて相手側の機器に送信されます。
また点字表示部には相手側の機器から送られた点字情報が表示されます。
これに対して、点字文書の読み書きや各種アクセサリを利用するモードを「手帳モード」と呼びます。
点字ディスプレイモードで接続中はこの２つのモードを切り替えながら並行して使うことができます。
これは書類や手帳を見ながらパソコンを操作する環境に似ています。

ディスプレイモードと手帳モードの切替のキーは、コマンドキー ＋ D(1・4・5の点)です。
なお、ディスプレイモード中は、表示の送り・戻し操作は手帳モードとは異なり、以下の組み合わせ操作に割り当てられています。
コマンドキー ＋ コントロールキーまたはセレクトキー：表示の戻し
コマンドキー ＋ セレクトキーまたはウィンキー：表示の送り

（文書の送受信）
本機では、対応機器との間で点字文書を送受信することができます。
Bluetooth で文書を送受信する場合は、「接続」メニューの「BT 接続」が「クラシック」に設定されていることを確認してください。
文書の送受信は、接続相手側からの操作に加えて、本機から開始することもできます。
接続相手側から操作する場合は、各機種のマニュアルをご参照ください。
本機から操作する場合は、通信中に「接続」メニューから「文書の送受信」を選択します。
「文書の送信」または「文書の受信」を選択できます。
文書の送信
本機の文書一覧が表示されます。送信する文書を選択すると、文書の送信を開始します。
文書の受信
接続相手の機器の文書一覧が表示されます。受信する文書を選択すると、文書の受信を開始します。
※本機同士の通信では、BMT 形式のみ送受信できます。
※送受信時、文書の情報（マス数、行数、ページ数）は表示されません。

なお、パソコンからデータを移行する場合は、microSD カードを利用することも可能です。

microSD カードを利用する場合は、ファイルを「DOCS」フォルダ内に保存してください。
パソコンからデータを移行した後は、必ず「ファイル一覧を更新」操作を行ってください。
また、ユーティリティソフト BMTerm の機能を利用することでも文書の移行を行うことができます。
BMTerm…BM シリーズ機器とパソコンの間で、文書情報を送受信するためのアプリケーション・ソフトです。
なお、ブレイルメモ Fit16 では、このプログラムの機能のうち、データのバックアップ／リストア機能はご使用頂けません。microSD カードを取り出して PC などでコピーをしてください。
詳しい操作方法は、ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。
その他ユーティリティソフトとの連携も、順次対応予定です。

（BL-1000 LINK との通信）
本機では、Bluetooth を使用して BL-1000 LINK と接続し、点字ラベルを印刷することができます。
BL-1000 LINK と接続する場合は、「接続」メニューの「BT 接続」が「クラシック」に設定されていることを確認してください。
BL-1000 LINK と接続中は、「接続」メニューの「点字ラベル印刷」を選択できます。
「点字ラベル印刷」を選択すると、1 行編集画面が開きます。
印刷する点字を入力し、エンターキーを押すと、点字ラベルの印刷を開始します。
点字ラベル印刷を終了するには、エスケープキーを押します。
※「点字ラベル印刷」は、BL-1000 LINK と接続している場合のみ使用できます。
他の機器と通信中の場合は使用できません。

■10　設定

本機には、以下の設定項目があります。

・ブザー

ブザーを鳴らすかどうかを設定します。

　　(設定値)オン/オフ

・ブザーの音量

ブザーの音量を設定します。

　　(設定値)1～15

・お知らせ表示時間

ポップアップ表示の時間を設定します。

　　(設定値)オフ/短い/普通/長い/消さない

・オートパワーオフ

一定時間操作がなかった場合に自動で電源をオフする機能をつけるか、設定できます。

　　(設定値)オフ/5 分/10 分/30 分/1 時間/1 時間半/2 時間

・起動時のバッテリー表示

起動時にバッテリー表示をするか設定します。

　　(設定値)しない/する

・ワードラップ

ワードラップを有効にするかを設定します。

　　(設定値)オン/オフ

・キーリピート

キーリピートが始まるまでの時間を設定します。設定値を「しない」に設定するとキーリピートがオフになります。

　　(設定値)しない/みじかい/ながい

・キーリピートの速度

キーリピート発生後の入力間隔を設定します。

（設定値）はやい/おそい

・6 点キーの配置

6 点キーの入力方式を設定します。

パーキンス方式では 321-456、カニタイプ方式では 456-321 の配置になります。

（設定値）パーキンス/カニタイプ

・カーソルの点滅

点字入力画面で、カーソルの点滅をするかを設定します。

（設定値）オン/オフ

・SD カードの情報（選択可）

SD カードの情報が確認できます。

（表示される情報）サイズ、空き容量、使用中の容量

・バッテリー残量（選択可）

選択するとバッテリーの残量を確認することができます。

・テストメニューを開く（選択可）

テストモード用のメニューに移動します。

設定値は、コマンドキー ＋ スペースキー（デリート）操作で選択中の項目をデフォルトの値に戻すことができます。

反映するにはエンターキーを押す必要があります。

（テストモード）

テストモードとは、機械の状態を簡単に確認することができるモードです。

テストモードには以下の 2 つの項目があります。

1. 点字表示テスト
点字セルの状態を確認できます。
開始すると、すべての点字セルが自動で上下します。
上下キーを操作すると点字のパターンを変更できます。
また、左右キーで点滅の速度を変更できます。
エンターキーを押すことで点滅が停止し、現在の状態を維持することが可能です。

2. キー入力テスト
各キーを押した際、キーの名称を確認できます。
キーの反応状態を確認することができます。

（グローバルショートカット）
グローバルショートカットとは、機械が現在どのような状態でも共通で使用することができるショートカット操作です。
本機には、以下のグローバルショートカットが用意されています。
コマンドキー ＋ B（1・2 の点）－バッテリー残量参照
コマンドキー ＋ C（1・4 の点）－バッテリー状態、通信状態の確認
コマンドキー ＋ I（2・4 の点）－本機のバージョン、シリアル番号、デバイス名、アクセスキーの確認
コマンドキー ＋ T（2・3・4・5 の点）－現在時刻の確認
コマンドキー ＋ D （1・4・5 の点）－ディスプレイモードと手帳モードを切り替えます。
コントロールキー ＋ コマンドキー ＋ D（1・4・5 の点）－現在接続中のポートを切断します。

（ファームウェアアップデート）
本機購入後、お客様ご自身でファームウェアアップデートが可能です。

(1) microSD カードにアップデート用ファイル「fwupdate.mot」を入れて本体の電源をオンすると、アップデートが開始されます。
(2) 点字表示部の 1 マス目の点がぐるぐる回り、アップデートが進行中であることを示します。完了後、本体は自動で通常起動します。
※アップデート完了後、microSD カード内にファイル「FWUPDATE.FIN」が自動作成されます。このファイルが存在している状態ではアップデート機能は無効となります。再度アップデートを行う際は、一度このファイルを削除してください。

■仕様

1.名称	点字ディスプレイ
2.型式	Braille Memo Fit 16
3.通信ポート	Bluetooth 4.2 USB Type-C（Ver2.0）
4.表示マス数	16 マス
5.電源	AC アダプタ（入力 AC100～240V、50/60Hz、出力 DC5V） または USB 電源（出力 DC5V）
6.消費電力	最大 15W
7.使用環境	5～35℃ 20～80%RH（結露なきこと）
8.サイズ	W164×D80×H20［mm］
9.重量	約 320g

--- 連絡先 ---
ケージーエス株式会社　営業部
TEL：0493-72-7311
URL：https://www.kgs-jpn.co.jp